

ろくのへ 議会だより

令和8年
8月21日発行

No.129



六戸町議会
ホームページ
QRコード



6月定例会2

条例改正
補正予算

一般質問4

2議員が町の考えを問う

委員会レポート8

各委員会活動の報告

曇り空の比較的過ごしやすかった、7月27日。
町シニアクラブの皆さんによる今年度最初の除草作業が行われました。

総勢約30名の会員が集まり、午前中だけの作業であったという間に役場付近の歩道がきれいになりました。次回は秋に行う予定です。

6月 定例会

6月定例会は、6月5日から9日までの5日間の会期で開かれました。専決処分の報告や条例の一部改正、令和8年度補正予算、委員の任命など、計22件

の案件が町長から提出されました。審議した結果、議員全員賛成で原案どおり可決されました。一般質問は2議員が登壇。町の考えを問いました。なお、主な審議等は次のとおりです。

条例改正

▽町印鑑条例の一部を改正する条例案

国の法律改正に伴い、外国人住民やコンビニ交付に関する手続きを見直す内容となっています。

補正予算

令和8年度の六戸町一般会計補正予算では、既定の歳入・歳出予算に、2197万円を増額し、総額が91億1697万円となりました。

うち、補正の主な内容は次のとおりです。

▼地域公共交通の再構築

1119万円

地域公共交通ネットワーク再構築に向けた、人材育成支援業務などに充てられます。

▼地域コミュニティ活動への助成

250万円

▼鳥獣被害防止対策

128万円

県の補助金のルール変更に合わせて予算の使い道の項目を整理しました。

▼地域農業構造転換支援事業補助金

318万円

財産の無償譲渡

旧学校施設の解体費用抑制及び民間事業者による有効活用を図るため行います。

・対象物件

旧ふれあい昭陽館の土地と建物等

・譲渡先

株式会社小坂工務店

・対象物件

旧勤労者体育センターの土地と建物等

・譲渡先

有限会社メープルファーム

質疑

岡 山本実議員

無償譲渡するメリットは何か。

答 企画財政課長

建物の解体費用にあわせて約5億3000万円もの費用がかかる見込みであったため、その経費を抑えることが最大のメリットです。

また、利活用に関する公募型プロポーザルを実施し、プレゼンテーションで事業内容を厳正に確認済みです。

当初の計画と明らかに違う点があれば、町がその都度事実確認し、事業者から事情を聞きながら対応します。



旧ふれあい昭陽館



旧勤労者体育センター

5月臨時会

5月臨時会は、令和8年5月12日の1日間の会期で開かれました。専決処分の報告や条例の一部改正、令和7年度の補正予算、工事の請負契約など、計14



旧六戸小学校



旧六戸中学校

件が町長から提出されました。審議した結果、議員全員賛成で原案通り可決されました。

繰越明許費計算書の報告

昨年度内に事業完了が困難な13の事業を今年度に繰り越すものです。一般会計、診療所事業特別会計、下水道事業会計の計算書の報告がありました。

質疑

問 川村重光議員

今年度中に閉所する診療所のLED化工事は無駄ではないか。

答 診療所事務長

昨年度から既に行われている工事で、蛍光灯の経年劣化による診療等への支障解消と閉所後の施設有効利用のために進めています。

問 川村重光議員

来年3月に閉所する診療所の今後の見通しや現状は。

答 町長

診療所は令和9年3月末に閉所予定で、後継の医療機関を現在公募中なのでしばらくお待ちいただけます。

専決処分の承認

令和7年度六戸町一般会計補正予算を専決処分し、歳入歳出予算の総額から3億871万3000円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ7億3261万9000円としました。

工事の請負契約

●七百・大曲線柳沢交差点改良工事

・契約金額
6380万円

・契約先
野田重機建設株式会社

●旧六戸小学校解体工事

・契約金額

3億9160万円

・契約先

株式会社ユタカ工業

●旧六戸中学校解体工事

・契約金額

3億4210万円

・契約先

株式会社佐藤建設工業

質疑

問 山本実議員

解体工事は国からの補助金等があるのか。

答 教育課長

公適債※を使用しております。

※公適債(こうてきさい)

「公共施設等適正管理推進事業債」の略称で、地方自治体が公共施設の統廃合や長寿命化を行うための資金を調達する借金的一种です。

付記 解体工事における財源について

「六戸学園建設事業」で活用した借金と同じ財源となっています。

また、公共施設の統廃合計画に係る学校等解体事業については、令和7年度に起債償還へ普通交付税50%が措置されることになったため、令和8年度の解体事業に財源として活用することになりました。

この起債を活用することにより将来への負担が軽減される見通しです。



まつむら えいこ
松村 英子 議員

外国人の現状と学校の指導は

在住者は213名。学園へ指導教諭を配置し対応 — 町長

- 問** 増加する外国人住民の現状と、六戸学園における外国籍児童への日本語指導の体制は。
- 町長** 町内には213名の外国人が在住しています。六戸学園には外国籍の児童生徒が9名おり、日本語指導教諭を配置して個別指導を行っています。
- 問** 日常生活で支障まのか。
- 町民課長** 町民課が担当しているごみや環境的な分野では苦情は来ていません。
- 問** 日本語が分からず退学する生徒がいると聞いたが、現状の対応

◆六戸町の外国人住民数
213名(R 8. 4現在)
(国名は個人特定防止のため非公表)
※参考 148名(R 5. 4現在)

六戸学園の外国籍児童生徒数
9名

教育長 はどうなっているか。
担任教諭または日本語指導教諭により、理解力や発達段階に応じ、個別に丁寧に対応しています。困り感はあると思われますが、強い不満の表明はありません。

- 問** 観光資源の利活用、イベント計画の予定はあるのか。
- 町長** 町や観光協会が主催する以前のような大規模な祭り形式のイベント開催はしていません。民間主導のイベントを町として後援、協力し、「春まつり」に代わる賑わいの創出を図っていきたく考えています。
- 問** 早まりつつある桜開花時期に合わせてできるイベントの計画の予定はあるのか。
- 町長** 具体的な計画はありませんが、桜開花時期に合わせて昨年度実施したイベントがあり、当町の桜を堪能して



アースデイの様子

問 観光協会の協力を得てできるものはな

町長 これまでも観光イベントについては、企画段階から観光協会と密接な連携を図って実施しています。

館野公園の集客対策は

官民一体で魅力向上を図る — 町長

いただいた実績があります。

問 館野公園は遊具が少なく、安全に配慮しながら遊具を増やすべきではないか。

町長 館野公園は遊具が少なく、安全に配慮しながら遊具を増やすべきではないか。
現在も遊具はありますが、来園者が少なく効果が見えにくいです。近くに運動公園もあるため、新設するから運動公園への設置も含め、今後検討いたします。

★館野公園でのイベント実績

- ・アースデイろくへの
- ・クラシックカーミーティング
- ・ろくへのさくらフォトログ

商品券配布に2か月要した理由は

誤配送を防ぐため対面手渡しを — 町長



やまもと みのる
山本 実 議員

問 町が配布した地域商品券を電子マネーでの配布やハガキなどによる引き換えが出来なかったのか。時間を要したその理由は。

町長 金券の配布であり正確に確認しながら、お渡しする必要があることから、配送に時間を要しました。他の方法は最初から検討していません。

町長 町独自の商品券の発行について検討したか。

町長 資金決済に関する法律により、商品券の払い戻しは原則禁止とされているため検討は行っていません。

町長 国が交付金追加に伴い、副町長トップのプロジェクトチームで協議し現物支給を決定しました。個人の支援ではなく世帯支援の観点から、必ず必要となるもので、かつ各世帯の経済的負担軽減となるものと考え実施しました。



問 ゴミ袋配布事業を実施しているが、配送費、事務費なども考慮した場合、その分商品券に上乗せし、選択肢を町民に委ねるべきではなかったか。

町長 国の交付金追加に伴い、副町長トップのプロジェクトチームで協議し現物支給を決定しました。個人の支援ではなく世帯支援の観点から、必ず必要となるもので、かつ各世帯の経済的負担軽減となるものと考え実施しました。

町長 令和10年度から事業実施を計画しているものを、令和9年度へ前倒しできないか。

町長 今年度、地域公共交通計画をまとめ、令和9年度中に実証運行を行い、令和10年度から本格運用する予定と

町長 今年度、地域公共交通計画をまとめ、令和9年度中に実証運行を行い、令和10年度から本格運用する予定と

町長 今年度、地域公共交通計画をまとめ、令和9年度中に実証運行を行い、令和10年度から本格運用する予定と

町長 今年度、地域公共交通計画をまとめ、令和9年度中に実証運行を行い、令和10年度から本格運用する予定と

町長 今年度、地域公共交通計画をまとめ、令和9年度中に実証運行を行い、令和10年度から本格運用する予定と

町長 今年度、地域公共交通計画をまとめ、令和9年度中に実証運行を行い、令和10年度から本格運用する予定と

ふるさと納税減少の理由は

宿泊券の上限規制や近隣自治体との競合 — 町長

問 寄附額が令和5年度をピークに減少している要因は。

町長 国の制度改正による宿泊券の上限規制や、近隣自治体との競合が影響しているものと考えています。

町長 今後の寄附額拡大への対策は。

町長 昨年度からすでに中間事業者に各種業務を委託して、返礼品の開拓やポータルサイトのブラッシュアップを行い、寄附額増額に向けて取り組んでいるところです。



デマンド交通の広域連携の可能性は

連携の可能性を引き続き模索 — 町長

なっています。

問 利用目的や利用頻度などを把握するためのニーズ調査を行う考えはあるか。

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

町長 町公共交通の実態や、町民へのアンケート調査、事業者へのヒアリング調査等で実

審議した議案の結果

第2回臨時会(開会5月12日)(採決日同日)

議案名		採決 賛否	審査 結果
報告	令和7年度六戸町一般会計繰越明許費繰越計算書	一	報告
	令和7年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計繰越明許費繰越計算書		
	令和7年度六戸町下水道事業会計予算繰越計算書		
条例の一部改正 (専決処分)	六戸町税条例の一部を改正する条例(地方税法等の改正に伴い、町の税条例(軽自動車税・個人住民税・固定資産税関連)を一部変更)	全員賛成	承認
	六戸町国民健康保険税条例の一部を改正する条例(子ども・子育て支援金制度の創設に伴う変更)		
	六戸町地方活力向上地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例(地域再生法の省令改正に伴い、町でも同様の措置を講じるための変更)		
令和7年度 補正予算 (専決処分)	六戸町一般会計補正予算(3億871万円を減額補正)		
	六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算(1億7744万円を減額補正)		
	六戸町介護保険事業特別会計補正予算(303万円を減額補正)		
	六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(502万円を減額補正)		
	六戸町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(2266万円を減額補正)		
工事の契約	工事の請負契約について(七百・大曲線柳沢交差点改良工事)		可決
	工事の請負契約について(旧六戸小学校解体工事)		
	工事の請負契約について(旧六戸中学校解体工事)		

第3回定例会(開会6月5日)(採決日6月9日)

議案名		採決 賛否	審査 結果
報告 (専決処分)	損害賠償の額の決定について(走行していた車両が町道の穴に落ち、車両の左前輪タイヤが破損した事故の損害賠償)	一	報告
条例	六戸町印鑑条例の一部を改正する条例	全員賛成	可決
補正予算	令和8年度六戸町一般会計補正予算(2197万円を増額補正)		
財産譲渡	財産の無償譲渡について(旧ふれあい昭陽館)		
	財産の無償譲渡について(旧勤労者体育センター)		
人事	人権擁護委員の候補者の推薦(町が法務大臣に対して推薦する委任候補者(畠山鏡子氏)について意見を求めるもの)	全員起立	適任 同意
	六戸町教育委員会教育長の任命(任期満了に伴う瀧口孝之氏の再任に同意を求めるもの)		
	六戸町農業委員会委員の任命(任期満了に伴う委員15名の任命に同意を求めるもの)		

議会を傍聴しませんか？
議会傍聴はどなたでもできます。
途中入退室は自由です。

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな事項が審議されています。

町政への知識を深め、町政を身近に感じるために、議会を傍聴しませんか？次回は9月に開催予定です。

☎ 議会事務局 ☎ 55-4547



診療所は、令和9年3月末をもって閉所します。今後は地域の医療を守るため、民間の医療機関へ

**診療所を民営化へ
公募型プロポーザル
で譲渡先を決定**

5月25日、全員協議会が開かれました。こども家庭センターの設置や旧学校施設の活用など計6件の案件について、町から説明がありました。

ここでは診療所の民営化についての説明内容と今後の見通しなどの要点をお伝えします。

全員協議会



六戸町国民健康保険診療所の 民営化（譲渡）などを協議



令和9年3月末で閉所予定の六戸町国民健康保険診療所

質疑

問 高坂議員

審査委員会のメンバー

は。

答 診療所事務長

メンバーとしては、役

事業を引き継ぐ「民営化（譲渡）」を進めて行きます。診療所の建物や医療機器などは無償で譲渡する方針です。

診療所事業譲渡先は、「公募型プロポーザル方式」で決定します。審査委員会による採点で最も評価が高かった事業者を契約予定事業者として決定します。

場から、副町長、関係する課の課長ほか合計7名で構成しています。

問 高坂議員

有識者をいれてはどう

か。

答 診療所事務長
利害が絡むといった懸念もあり、あえて町職員のみで構成させていたいただきました。

問 山本実議員

今働いている職員はどうなるか。

答 総務課長

職員の方々と個人面談を行っています。転職等を希望する方には、各受入先へ採用の働きかけを進めています。

町のための確かな視点を～2つの議員研修会に行ってきました

分かりやすい講義で「質問」と「質疑」を再確認

7月1日、七戸中央公民館で開催された「上北郡町村議会議長会議員研修会」に参加しました。

大正大学の江藤俊昭教授より「議会における一般質問と質疑とは」と題した講義をいただきました。

講演中も感じましたが、後から見ても、整理された大変見やすく分かりやすい資料でした。テーマもよく理解出来た気がして、この学びを今後の議員活動に活かしてまいります。



これからの政治の動きと、情報の見極め方を学ぶ

7月8日、青森市で開催された「県下町村議会議員研修会」に参加しました。

テレビのニュース番組等でも広く活躍されているジャーナリストの星浩氏より「今後の政局・政治展望」と題し、今後の社会情勢やメディアの本質について講演をいただきました。

この講演を聞いて、テレビは偏っているとの事で、テレビのニュースを見ない知人のことを思い出しました。情報の偏りは主観による部分もあると思うので、情報が正確であればそれでよいと思っています。

また、ファクトチェック（事実確認）が行われていないネットニュースしか見ない人が増えている現状にも危機感を覚えます。



議会広報委員会 松橋 一男

総務常任委員会

3つの重点課題を重点的に調査研究へ

4月30日、総務常任委員会において今後の委員会活動の軸となる調査研究テーマについての話し合いが行われました。令和8年度は町の財政、旧学校施設の跡地利用、住民の足に関わる以下の3項目を重点的に調査研究していくことが決定しました。

●企画財政課に対する所管事務調査

・今後10年間の財政シミュレーションによる町の財政の見通しはどのようなになっているか。

●旧学校解体後の跡地再利用について

・役割の終えた旧学校施設の解体後、その広大な跡地をどう有効活用すべきか。

●デマンド交通の件について

・地域公共交通の利便性向上に向けて、どのような手段があるのか。

総務常任委員会委員長 山本 実

産業民生常任委員会

「こども家庭センター」の概要を調査



産業民生常任委員会は7月13日、福祉課より令和8年度中の設置に向けて準備が進む「こども家庭センター」の概要について聞き取り調査を行いました。

「こども家庭センター」は、従来の母子保健と児童福祉の窓口を一本化し、妊娠期から18歳までの切れ目のない支援を行う機関です。

福祉課長よりこども家庭センター創設の背景・目的から始まり、その役割や業務の概要等について説明がありました。

委員からは、資格を有する職員の確保や相談しやすい環境づくりを求める意見が出されました。

今後は、福祉課の意見を参考に、住民サービスをどのように充実させていけるかということを、委員たちと一緒に考えながら活動していきたいと思います。

産業民生常任委員会委員長 長根 一男

議会広報委員会

広報紙作成のポイントについて学ぶ



5月20日、町村議会広報研修会に広報委員3名と事務局の4名で参加しました。場所は青森県労働福祉会館。講師は昨年度に引き続き、議会広報サポーターの

芳野政明氏。

研修内容は、前半、議会広報の作り方で大切なことについて説明を受け、後半は6町村議会の広報紙が講師による作成指導を受けました。

議会広報作成のポイントとしては、住民の方が見たいと思う見出しにすること、わかりやすい言葉で編集すること、紙面に住民が登場するかまたは住民の声・意見が反映されていること（参加協働の推進）、議員の具体的な活動状況が見え、活性化が伝わる編集（議会活動の「見える化」）、読みやすく分かりやすい編集などがあり、今後いつでも手軽に読むことができ、議会活動に感心が持てる議会広報作成を心掛けていきたいと思っています。

議会広報委員会 副委員長 松村 英子

未来の六戸を 考える 第1歩 「第1回意見交換会」開催!

7月2日、六戸学園会議室にて、6年生と町議会議員、議会事務局職員が一堂に会する「第1回意見交換会(顔合わせ)」が開催されました。子どもたちは今後、9月の議会定例会の傍聴を経て、12月17日に開催される本番の「模擬議会」で町への直接提案に挑みます。



会場では児童たちが最初から13のグループに分かれて席に着きました。

町議会についての説明のあと、いよいよグループごとの顔合わせがスタート。今回は時間を有効に使うため、議員たちが各グループの席へと移動していくスタイルがとられました。

「こんなことを町に聞いてみたいな」をテーマにした話し合いでは、子どもたちが事前に準備してきた質問をもとに、活発な意見交換が行われました。

今回の模擬議会の大きな特徴は、「一般質問をする児童を、最後(本番直前)まで決定しない」

という独自のルールです。グループ全員に「自分が質問するかもしれない」という当事者意識をもたせるためです。

また、13あるグループのうち1つのグループは「議事進行(議長役)」を担当。1組、2組、3組から選ばれた3名の議長役が、本番で交代しながら進行を担う大役を務めます。最初は不安そうだった子どもたちも、「本番に向けてもっと準備を頑張りたい!」という様子でした。

次回は9月議会定例会(一般質問時を予定しています)を実際に傍聴します。



スツキリとした青空、美しい八甲田山、今日は快晴!!

今日一日、事故がないようにと思いながら職場へ。

あつという間に半世紀が過ぎ、卒園した私たちは色々な仕事について頑張っています。卒園児の中には成人式に晴れ着を見せに来た子、親になり子どもを入園させている子もいます。嬉しい限りです。

子ども達とのかかわりのなかで私たちが勉強させられることが沢山あります。

子ども達には日々「ありがとう」「ごめんなさい」「どうしたの?」がきちんとできる子はステキな人になれるよ話しております。ある日、小さい子が泣いていると、そっと涙を拭いてあげ、「もう大丈夫」と背中をトントンしてあげている男の子がおりました。その様子を見て、心豊かな子に育っているなど大変嬉しい気持ちになりました。

世界中のひとたちも相手を思いやる気持ちがあつたら、争いごとがなくなり、平和になるのにと考えさせられる出来事でした。

私も心を新たに「から頑張ろうと、そんな思いで子ども達をも守る日々です。」

松村 英子



Interview

町の新スポーツ協会長に就任した

に い だ て る お
新井田 照雄 さん



■プロフィール

七百地区出身。昭和32年生まれ。三沢高卒。信用金庫に勤務し、野球選手として活躍した後は監督として信用金庫大会3連覇へ導いた。その豊富な経験を活かし、今年度からは町スポーツ協会会長に就任し、地域のスポーツ振興に尽力している。妻と2人暮らし。現在の趣味はボウリング。最高スコア 274点の腕前。

青の煌めきあomorい国スボ2026 ROKUNOHE
六戸町 軟式野球競技会 開催日時: 2026年10月11日(日)~13日(火)
開催競技 (成年男子) 開催場所: 六戸町総合運動公園野球場

スポーツ協会長になった経緯

実は最初、前会長からお話をいただいたときは「なぜ自分が選ばれたのだろう」とわからない状態でした。全然違う運動(野球)でやってきたし、ボウリング協会に入ったのも退職してからのことでしたから。でも年齢が80歳近くになった前会長をこれ以上引き留めるわけにもいかず、また、平日の会議などにも動ける人がなかなかいないという現状がありました。私は時間にも比較的余裕がありましたので、「私でよければ」とお引き受けすることにしました。少しでも町に貢献したいという気持ちの後押しになりました。

スポーツ歴

小学校に入る前から走るのが好きで、家から古里の駅までよく走っていた。

ました。小学校低学年の時、父親がグローブを買ってくれました。みんながそのグローブを使いたがって田んぼに集まり、三角ベースをして夢中で楽しんだのが私の原点です。

本格的に始めてからは野球がどんどん面白くなり、中学校ではエースで4番を務めました。高校は太田幸司さんに憧れて三沢高校へ進学し、私の代は青森県でベスト4まで勝ち進むことができました。

社会人になり信用金庫に就職してからも野球を続け、天皇杯などの全国大会へ5、6回出場しました。

国スボとの縁

かつて栃木国体や奈良国体へ選手として出場した経験があり、国体には特別な思い入れがあります。そのため、今回の青森県での開催が決まった

際も、「ボランティアでもいいから、何らかの形で関わりたい」と考えていたんです。それがまさか、地元のスポーツ協会長という立場で、しかもここ六戸町が軟式野球の会場となり、大役として関わることになるのは夢にも思いませんでした。本当に不思議な縁を感じています。久々に間近で感じる国スボの熱気が今からとても楽しみです。

町への要望

部活動の地域移行も含め、スポーツ振興への予算の確保と地域の企業やスポーツ経験者の皆さんを巻き込む、指導者の育成・確保への、積極的なバックアップを期待します。

いくらでもスポーツを通じて元気になってもらえればと思っています。

(取材 松橋一男
杉山茂夫)

編集後記

今回の議会だよりはただのめぐり合わせだが私の提出原稿がちょっと多かった。

トピックス、上北郡町村議会議員研修、青森県下町村議会議員研修、キラリ六戸人、編集後記。田植えが終わってほっと一息する間もなく原稿に追われた。

そんな中でも、空いたハウスを使って夏野菜の苗を植えた。

毎日水やりを楽しんでいる。まだ小さいが実もなってきた。

自分の植えた野菜だけでサラダを作ろうと考えている。

その日が私の「サラダ記念日」だ。

松橋 一男

議会広報委員会

委員長 松橋 一男
副委員長 松村 英子
委員 盛田 嘉彦
委員 長根 一男

杉山 茂夫
高坂 茂夫

発行責任者 議長 下田 敏美